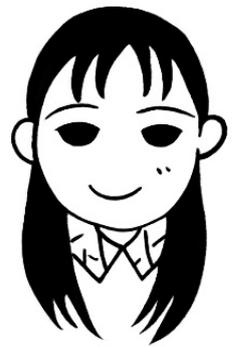


はちのこだより No.4



令和7年5月1日 校長だより
法典東小学校長 渡部 香里

みんなちがって みんないい

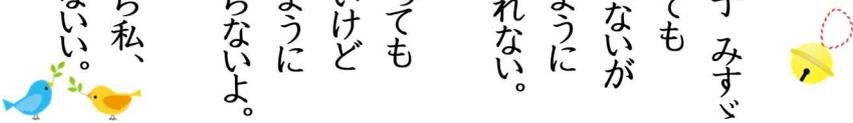
5月1日(木)の全校朝会で、大正末期から昭和初期にかけて活躍した童謡詩人、金子みすゞさんの代表作「私と小鳥と鈴と」という詩を紹介しました。この詩の最後の「みんなちがって みんないい」という言葉は、人間には個性があって、その個性を認め合うことの大切さを表す言葉です。みすゞさんからのお互いの違いを大切にすることを大切にするメッセージです。新しいクラスになって、新しい友達ができ、友達のことをもっと知って、いいところを見つけてあげることが大切です。

私と小鳥と鈴と
金子みすゞ

私が両手をひろげても
お空はちつとも飛べないが
飛べる小鳥は私のように
地面をはやくは走れない。

私がかつらだをゆすつても
きれいな音は出ないけど
あの鳴る鈴は私のように
たくさんうたは知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。



金子みすゞさんの詩の紹介



安全委員会「校庭での遊び方について」

